

## 3. 海底ごみ持ち帰り・回収制度に関するアンケート調査票

**海底ごみ持ち帰り・回収制度に関するアンケート調査票**

平成22年12月

実施主体；鳥取環境大学

協 力；鳥取県漁業協同組合

## 【調査の目的】

本学では、「日本海に面した海岸における海ごみの発生抑制と回収処理の促進に関する研究」を推進するに当たり、漁業関係者の方々がかこれまで困っておられた海底ごみによる漁獲量への影響、漁船のトラブル・漁具の損傷、網の巻き上げ作業に時間がかかるなどの問題解消を目的に、漁業活動により引き上げられた海底ごみを陸上に持ち帰って適正に処理する『**海底ごみ持ち帰り・回収制度**』の検討を行っています。

本アンケート調査は、漁業活動における海底ごみ問題の現状を把握するとともに効果的かつ実行可能な『海底ごみ持ち帰り・回収制度』を検討するための基礎資料を得るために行うものです。

何卒ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

なお、このアンケートは上記以外の目的には使用しません。

## 1. 海底ごみ問題の現状に関する設問

網漁等の操業中に、引き上げた網の中に水産動物のほかに海底ごみも混入することがある等、漁業活動中に海底ごみが引き上がる場合があります。この設問では、あなたの漁業活動における海底ごみの発生状況や取り扱い状況について質問します。

なお、本調査における『**海底ごみ**』とは、『**海底または海中にあるビン・カン類や家庭ごみ、電化製品、漁具等の人工物**』であり、流木や海藻類などの植物やクラゲ等の漁業対象外の水産動物、及び海面を漂う浮遊ごみ（人工物含む）は含まないものとします。

【設問1】あなたが従事する漁業において、過去に網に入るなどで引き上げ、港に持ち帰った『海底ごみ』は主にどのように処理しましたか？

以下の選択肢より**あてはまるもの全て**に○を付けて下さい。

- ① 網に海底ごみがかかったことがない
- ② 自らごみ処理施設に持ち込み、お金を払って処理した
- ③ 資源物として、自ら再資源化業者に売却した
- ④ 家庭ごみと一緒に処理した
- ⑤ 漁協等に処理をお願いした
- ⑥ 漁港等の決まった一時保管場所・容器に仮置きした
- ⑦ その他（）





